



国立精神・神経医療研究センター
バイオバンク

(倫理指針に則る情報公開)

～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2010年10月19日から2021年5月18日にご同意いただいた方で

多系統萎縮症、パーキンソン病、前頭側頭型認知症、多発性硬化症、白質脳症、大脳皮質基底核変性症、進行性核上性麻痺、カンジタ性髄膜炎、パーキンソン症候群、筋萎縮性側索硬化症と診断された方

【研究課題名】

病理情報を有する神経変性疾患患者様の血液、脳脊髄液中の神経伝達物質およびその関連分子の測定及び解析

【研究責任者】

平松直樹（エーザイ株式会社）

【本研究の目的及び意義】

認知症の中には、脳内に異常タンパク質が蓄積するタイプが存在しますが、その原因や治療法は完全には明らかになっていません。今回の研究では、脳内に異常タンパク質が蓄積するタイプの認知症を、脳脊髄液や血液の検査で見分けるため方法を開発します。これにより、異常タンパク質の蓄積を伴う認知症を正確に診断し治療する方法の開発に繋がります。

【本研究に提供する試料・情報】

血液（血漿）、髄液

性別、年齢、診断名、既往歴、家族歴、服薬情報、心理検査の結果

病理情報、採取時期、髄液測定結果、疾患の重症度

提供する試料・情報の取得の方法：バイオバンクにおいて広範な同意を得て収集した試料・情報

【研究期間】

研究開始日～2025年3月31日

【提供を開始する予定日】

2024年7月を予定しています。

【試料・情報等扱う機関】

なし

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター バイオバンク

所属 メディカル・ゲノムセンター バイオリソース部

電話番号 042-346-3520 E-mail: biobank※ncnp.go.jp (※を@に変更してください)